

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	防災対策避難路整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	12	4	105,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					1	8	2	3	12	1	1,000
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		済み						
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等	飯田市地域防災計画						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	指定の防災避難路、避難路を使用して避難をする住民。	路線数(路線)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			6			
		対象市民数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			2006			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
避難道を拡幅し、スムーズに避難場所へ移動できるようにする。	改良率(完了延長/対象延長)%	18目標	37.8(%)	最終目標		
		18実績	37.8	19目標	44.3	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	有事の際に地域住民が安全に避難場所へ避難することが出来るよう、指定避難路を地区に応じた整備をする。	18年度の実績	早期完了を目指し工法の検討を行い事業費の縮減に努める。 測量設計・用地買収・物件補償・工事施工・工事説明会 ・久米線(久米西平)・殿岡桐林線(下殿岡)・上郷92号線(飯沼) ・稲荷坂線(座光寺小学校西)・殿岡桐林線(新井原) ・駄科桐林線(桐林)	路線数(路線)	6路線
		19年度計画	測量設計・用地補償・物件補償・工事施工・工事説明会 ・久米線(久米西平)・殿岡桐林線(下殿岡)・伊賀良409号線(三尋石)・稲荷坂線(小学校西)・殿岡桐林線(新井原) ・駄科桐林線(桐林) ・上郷92号線(飯沼)	路線数(路線)	7路線

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	103,800	79,500
	その他		
一般財源	34,700	26,500	
事業費計(A)	138,500	106,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,056	19年度 1,056
	臨時職員等所要時間	24	24
	人件費計(B)	3,802	3,802
	トータルコストA+B	142,302	109,802

特定財源内訳や補足事項	防災対策事業債
-------------	---------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害にそなえている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	火災発生件数	現状値	63	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標		50	

<b>この事業を開始したきっかけ</b> 飯田市防災計画の策定により事業を実施。	<b>事業を取り巻く状況の変化</b> 東海地震の強化地域になっている。また、最近各地で中規模の地震が起きており地震に対する関心が高まっている。	<b>事業に対する市民や議会の意見</b> 有事の際の安全な避難路の確保について市民、議会等から要望が強い。
---	---	---

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由) 災害時に住民の安全確保が強化される。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由) 地震対策強化区域であり早期完成が必要である。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) 指定の避難路である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) 災害時に住民の安全確保に影響を及ぼす。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) 避難場所へ容易に行き着けることが重要である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 統合可能 (類似事業名、理由) 類似事業：幹線・一般市道改良事業
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由) 公共の道路であり市民の安全確保のため必要である。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由) 工法の見直しによるコスト削減を図る。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) 不特定多数の市民が利用する公共道路であり負担金はなし。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 ・有効性を高めるためコスト削減に努め早期完了を目指した。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	・事業費の削減に努め、早期に整備完了を目指し他機関との情報交換及び計画的な予算付けを行う。

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	